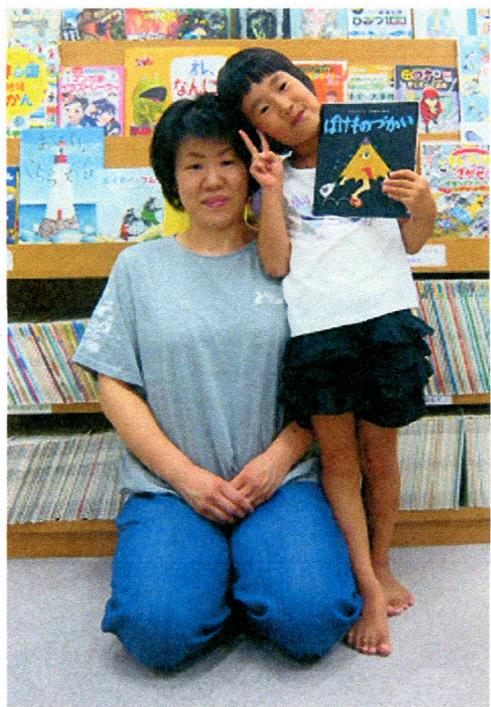


# としよかんだより

【下條村立図書館 142号 2019年9月15日発行】

9月になり朝晩は涼しくなったものの、「日中の暑さは、陽が肌を刺すようだ」と農家の皆さんがよく話していかれます。まだ、昼間外で農作業をするには大変な暑さ。でも暦の上では秋、夕暮れには虫の鳴き声が心地よく響きます。文化芸術の秋…アートギャラリーでは「大野家親子三人展」が16日まで開催され賑わいました。さまざまな秋が、図書館にもやってきます。

## としよかん大好き家族 PART 116 中村さんご一家 北又(松月堂)



「昨日は、寝る前に絵本を10冊並べて、ゼーンぶおばあちゃんに読んでもらったんです。私の帰りが遅いので、おばあちゃんには本当に助けてもらっています」と話すのは、ひさわ薬局でお仕事をされている中村みちるさん。いつも、長女のみりちゃん(年長組・5歳)とふたりで、元気よく図書館にやってきます。お父さんは、薬剤師の中村哲也さん…村にひとつしかない薬局を経営し、頼りになる薬の先生です。

みちるさんは、豊丘村出身。小学校時代は、学校図書館で友達と待ち合わせて本を借り、長い道のりを読書しながら帰ったそうです。公民館に週一回くる移動図書館車にも出かけていき、お母さんと一緒にたくさん本を借りた思い出もあります。小説が大好きでいつでも読みたいけれど、今はみりちゃんと過ごす時間が大切。今日借ったのは、『クックパッド』のお料理本…「これなら、一緒にお料理作れるかなあと」思って。

下條村にお嫁にきて、みりちゃんが生まれ、ブックスタートで絵本と出会ってからは、図書館へきてすぐに二人分のカードをつくりました。保育園に入る前、つどいの広場がある日はできるだけ参加し、そうでない日は図書館通いが日課…そして、お母さんが選んだ絵本を20冊近く借りて読む…という日々を過ごしてきました。

保育園に上がり、外遊びやプール、工作など…毎日が忙しくなると、絵本を読まずに眠ってしまう日もありました。でも月に一回絵本が届く「特選ライブラリー」(保育園での絵本購入)は、とても気に入って楽しみにしています。

今はもう年長さんになったので、借りる絵本は全部自分で選びます。お気に入りには、せなけいこのおばけ絵本シリーズ。そのほかに、思い出に残っている絵本は?『くつつつあるけ』(林明子作/絵)や『バムとケロ』シリーズ(小島ゆか作/絵)など…。

「おじいちゃんは、いつもみりに本を買ってくれます。それから作るのが得意だから、みりのために何でも作ってくれて、ありがたいんです！」みりちゃんを真ん中にして、役割をそれぞれが楽しんでいる…そんななかに幸せを感じる中村さんご一家でした。

### もくじ

- 1p : 図書館大好き家族
- 2p : ロビーお勧め本コーナー
- 3p : 大野家親子三人展報告
- 4p : 新刊ぴっくあつぷ

# 利用者 “おすすめの本コーナー” ロビーで展示中です！



読書手帳をお使いの皆さん、シールに印刷されている☆マークを活用していますか？

「本のタイトル」/書いた人/出版社/価格/☆☆☆☆☆

↑これです！

読んでみて面白かったものには…☆☆☆☆☆このように色を塗ったり、さらには感想を書いたりして、読書の記録をのこしている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

この記録を利用して、「この本おもしろかった！だれかに薦めたい！この本のことを、誰かと語り合いたい」という想いを伝えるコーナーができました。

(図書館をこよなく愛する利用者Sさんのアイデアです)

これまで、図書館入り口右手の“子どもミニ博物館コーナー”の隣にありましたが、「おすすめ本カード」

ブックカフェ前にできたおすすめの本コーナー。棚は、小学校旧図書館からいただきました。

を書いてくれる人が大勢いるので、ブックカフェ側に引っ越しました。

このコーナーでは、メッセージカードを挟んだおすすめの本を、表紙が見えるようたくさん展示しています。これらのメッセージを読んで「借りたい！」という本があったら、

カードを“貸出中の本の家”に入れ、本はカウンターで貸出手続きをとり、借りていってください。読んだ本がおもしろかったら、お礼や感想のメッセージを書いてくださってもOKです！

あなたも、おすすめの本カードを書いて、ボードに貼っていきませんか？本も一緒に並べておけば、それを見た誰かが借りていってくれるかも！

本を紹介してさまざまなコミュニケーションができるこのコーナー、ぜひご利用ください！

本と人がつながり、人と人がつながることができる…とても幸せなコーナーです♡



☆このコーナーで、おもしろい本を見つけよう！

☆カードを書いておもしろい本を、だれかに紹介しよう！

\*このコーナーの名前を、募集します。

カードに書いて、カウンターに出していってください。

採用された人には、プレゼントがあります♡

## 「大野家親子三人展」に寄せて

9月10日から16日までの7日間、あしたむらんどアートギャラリーにて、「大野家親子三人展」が開催され、連日多くの見学者が訪れていました。“大野家親子三人”とは、山二の判の木造園庭師の大野開三さんと、塚沢の大野茂光さん、優美子さんご夫婦の3人です。判の木と塚沢は、本家と分家に当たるそうです。

### 【刻粋会南信支部と大野さんご夫婦の作品展示】

会場入り口を入るとまず、「刻粋会南信支部」の看板が迎えてくれます。松島龍水氏（相模原市在住・松島貞夫氏）の刻字指導を月一回受け、作品作りに精を出す“刻粋会”の皆さん（4名）の個性的な作品群の中に龍水先生の貴重な作品（3点）も飾られます。続いて大野さんご夫婦の作品（刻字・押し花・水墨画）が続きます。どれも見ごたえのある気迫のこもった作品ばかりで、それぞれの人柄も伝わってくるようです。

松島龍水先生と刻粋会の皆さん、大野さんご夫婦の作品が並びます。



### 【大野開三さんの作品展示】

大野開三さんは1934(S6)年、6人姉弟の長男として農家に生まれました。開三さんの父方の曾祖父、祖父は腕の良い大工でした。母方の実家は造り酒屋で、庭師が入り手入れをする姿をよく目にしたそうです。そうした環境に育つなかで、次第に「庭」に強い興味関心を持つようになり、鎮西の亀割慎一氏（田中屋）に師事し、1963(S38)年には独立、判の木造園を設立しました。

その後は造園業にとどまらず公職にも就かれ、造園業界でも要職を歴任。1994(H6)年長野県知事より「信州の名工」、1998(H10)年労働大臣より「現代の名工」、2000(H12)年県知事表彰（卓越技能者）、2001(H13)年皇居宮殿にて黄綬褒章を受賞しています。

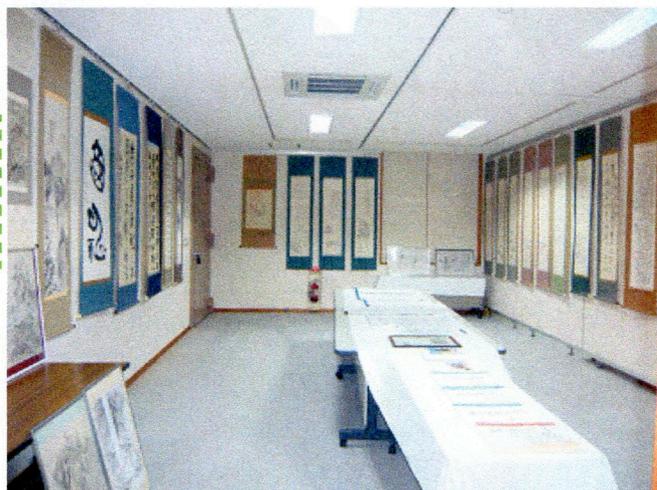
庭の設計とその手法には、独自の並々ならぬ熱意と技術があります。

ご著書『作庭画集—設計とその手法—』には、村内外より依頼され造ってこられた園庭の数々が、①庭の趣旨（デザインに込めた意味）、②庭の完成予想図（水墨手描き）、③完成した庭の写真等で紹介されています。

1998（平成10）年2月1日発行

\* 図書館に所蔵（貸出可）

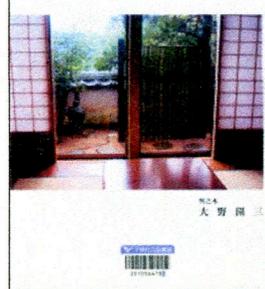
N629 オ/下條村の本コーナー



本業が庭師とは思えない芸術作品が並びました。



### 作庭画集 設計とその手法



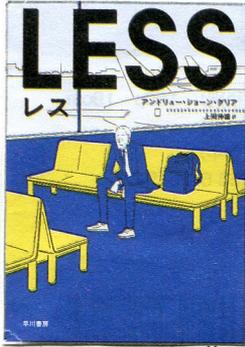
今回は、そんな大野開三さんの書や水墨画、造園設計図等の作品群を堪能できる、素晴らしい展示でした。

アートギャラリーは、知られざるすばらしい才能を作品として発表できる貴重な「場」です。多くの人々が利用し、参加できると良いですね！

# 新刊 ぴっく あっぶ



「罪の轍」 奥田英朗著 新潮社／東京オリンピックを翌年に控えた昭和38年、浅草で男児誘拐事件が発生した。しかし犯人が求めていたのは、大金でも、子どもの命でもなく…。犯罪ミステリ。\*F0



「レス」 アンドリュー・ジョン・グリア著 早川書房／小説家レスのもとに、9年間付き合った元恋人の結婚式への招待状が届く。どうやったら式から逃れられるか。出席を断る口実に、レスは世界中の文学イベントをめぐる旅に出る…。旅路の果てに、愛は見つかるのか？[ピューリッツァー賞2018年度受賞]\*933ク



「三体」 劉慈欣著 早川書房／物理学者の父を文化大革命で亡くし、人類に絶望した中国エリート化学者・葉文潔。ある日、彼女は謎めいた軍事基地にスカウトされる。そこでは、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクトが極秘裏に進行して…。[ヒューゴー賞長篇部門2015年受賞]\*923リ



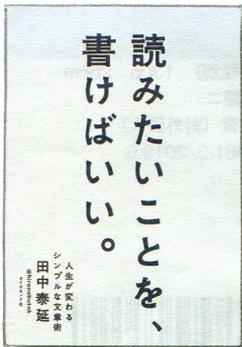
「冷たい校舎の時は止まる 限定愛蔵版」 辻村深月著 講談社／ある雪の日、学校に閉じ込められた男女8人の高校生。鳴らないチャイム、5時53分で止まった時計。やがて彼らは、2か月前の学園祭での自殺事件を思い出すが…。作家・辻村深月の原点にして青春システルの金字塔。[メフィスト賞(第31回)]\*Fツ



「サードドア 精神的資産のふやし方」 アレックス・パパナス著 東洋経済新報社／あなたはどうやってキャリアを踏み出したのか？ビル・ゲイツ、レイ・ガガ、ステイブン・スピルバーグ…。18歳の大学生が米国各界の著名人に“自分らしい人生の始め方”を突撃インタビューし教訓をまとめる。\*936ハ



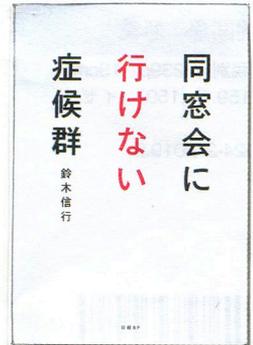
「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」 プレディミカこ著 新潮社／優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。世界の縮図のような日常を、思春期まっただ中の「ぼく」と著者である母は、ともに考え悩み乗り越え…。傑作エッセイ。\*376フ



「読みたいことを、書けばいい。人生が変わるシンプルな文章術」 田中泰延著 タイヤモンド社／自分が読みたいものを書くことで現実が変わる！「何のために」「何を」「誰に」「どう」「なぜ」「いつ、どこで」書くのか、人生が変わるシンプルな文章術を伝える。広告や履歴書の書き方を綴ったコラムも収録。\*816ク



「この世を生き切る醍醐味」 樹木希林著 朝日新聞出版／樹木希林は、なぜあれほど“平気”に”死んだ”のか？全身がんで世を去る半年前、7時間に及ぶ最後のロングインタビューを全収録。生老病死を面白がるヒントが満載。娘・内田也哉子のインタビューも掲載。\*778キ



「同窓会に行けない症候群」 鈴木信行著 日経BP／50代に広がる「同窓会に行けない症候群」。マイナビが2012年に実施した調査から、行かない理由を「自分に自信がないから」とする答えに注目し、ベストな幸せな生き方とは何かを考える。\*159ス



「子ども六法」 山崎聡一郎著 弘文堂／法律は皆を守るためにある。知っていれば大人に悩みを伝えて解決してもらうのに役立つよ。いじめ、虐待に悩んでいる君へ、盾となる法律についてイラストとやわらかい言葉で解説。\*320ヤ



「まなの本棚」 芦田愛菜著 小学館／小学生で夢中になった児童書、次々と読破したシリーズもの…。年間100冊以上も読み、本について語りだしたら止まらない！“秘密の100冊”を紹介。山中伸弥、辻村深月との対談も収録。\*019フ



「世界の人と楽しむ折り紙 伝えたい！一緒に折りたい！40作品」 山梨明子他編著 日貿出版社／折り紙には言葉の壁を越え、人の心を開かせ仲良くさせてしまう不思議な力がある。外国の人と一緒に折りたい作品を英訳とともに掲載。折り紙を交流に役立てる具体例や教え方のコツも紹介。\*774ト